



令和3年9月15日
第849号

一般財団法人日本遺族会
〒100-0001 東京都千代田区
九段南一丁目六番一七号
千代田会館三階
電話 03-3261-5521
00160-6-25389
振替 00160-6-25389
編集 毎月1回15日発行
定価 毎月1部130円(税込)

日本遺族会は国の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

生労働大臣の先導で両陛下がマスクを着用されご臨席された。続いて菅義偉内閣総理大臣が登壇し、会場中央の標柱に一礼の後、「私たちが享受している平和と繁栄は、戦没者の皆様との命と、苦難の歴史の上に築かれたものであることを、私たちは片時も忘れません。未だ帰還を果たされていない多くの遺骨のことも、決して忘れません。一日も早くふるさとにお迎えできるように、国の責務として全力で尽くしてまいります」と式辞を述べた。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えてこない。NHKの報道(9月7日、23時59分時点)では、国内の総感染者数は159万3330人。内、死者が1万6462人となった。ワクチン接種が一つのゴールといわれていたが、感染力の強いデルタ株が拡大し、接種したにもかかわらず感染する人が増え始めている。米疾病対策センター(CDC)は今春、2回接種を終えた人のマスクの着用を段階的に緩和したが、7月には、感染が拡大した地域では、公共施設の屋内での着用を改めてもめている。▼普段使うマスクの素材によっても感染を防ぐ効果の違いがあるようだ。スーパーコンピューター「富岳」を使った想定実験などによると、飛沫を防ぐ効果は、不織布が吐き出す飛沫量を80%、吸い込む飛沫量を70%防ぐ効果があったのに対し、布マスクは吐き出す飛沫量を66%、82%防ぎ、吸い込む飛沫量は35%、45%しか防げない。ウレタンマスクでは、吐き出す飛沫量を50%防ぎ、吸い込む飛沫量を防ぐ効果が30%、40%しかないことが分かった。医療関係者は「感染拡大を防ぐには、不織布マスクの着用と、換気を適切におこなうことが最も大切だ」と指摘している。▼10月、新たな首相が誕生する。新首相には、しっかりコロナ対策を行い、マスクをしない日常となるように努めてもらいたい。(M)

76年目の終戦の日 全国戦没者追悼式 天皇・皇后両陛下がご臨席

76回目の終戦の日となる8月15日、政府主催の全国戦没者追悼式が、東京・千代田区の日本武道館で、天皇皇后両陛下御臨席の下、開かれた。新型コロナウイルス感染拡大の影響により参列遺族は25都道府県から53人で、各界の代表者らも合わせた参列者は過去最少の185人となった。

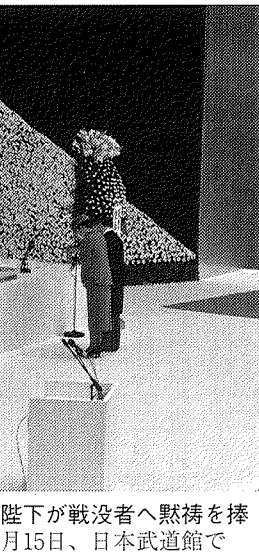
新型コロナウイルス感染症の拡大により、東京には「緊急事態宣言」が発出される中で追悼式となった。厚生労働省は、感染防止の観点から、開催規模を縮小するとともに、参列者が座席の間隔を1メートル確保するなどの措置を講じたほか、受付時には三蜜の回避はもちろん、マスクの着用、手指の消毒の徹底、検温を実施した。国歌斉唱は行わず奏楽のみとし、管楽器を不使用とした。また、参列できない遺族らのため、式典の様子を動画投稿サイト「ユーチューブ」でインターネット中継を今年も配信した。

式典は午前十一時五十分開始され、全員起立するなか、田村憲久厚

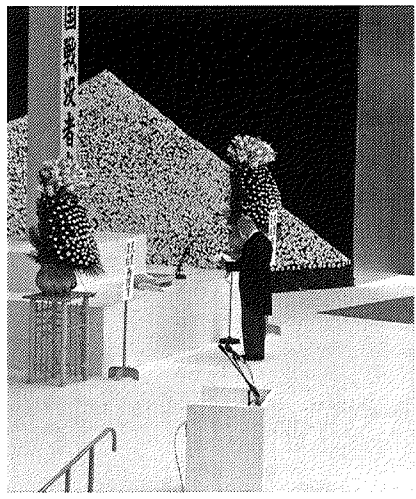
追悼の辞
本日ここに、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、各界代表をはじめ、全国各地から遺族代表が集い、全国戦没者追悼式が厳粛に執り行われるに当たり、戦没者の遺族を代表して、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

支部長交代
香川県で
増田 榮作氏
(8月16日付)

香川県遺族会
増田 榮作氏
(8月16日付)



天皇・皇后両陛下が戦没者へ黙祷を捧げられる=8月15日、日本武道館で



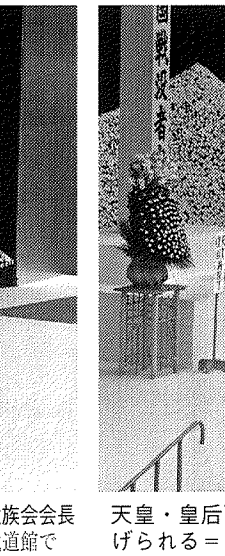
戦没者遺族を代表して柿原啓志兵庫県遺族会会長が追悼の辞を述べる=8月15日、日本武道館で

か、受付時には三蜜の回避はもちろん、マスクの着用、手指の消毒の徹底、検温を実施した。国歌斉唱は行わず奏楽のみとし、管楽器を不使用とした。また、参列できない遺族らのため、式典の様子を動画投稿サイト「ユーチューブ」でインターネット中継を今年も配信した。

天皇陛下のごことば
本日、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」に当たり、全国戦没者追悼式に臨み、さきの大戦において、かけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。

厚生労働省で
人事異動
厚生労働省で人事異動が行われた。

厚生労働省で人事異動
厚生労働省で人事異動が行われた。



戦没者遺族を代表して柿原啓志兵庫県遺族会会長が追悼の辞を述べる=8月15日、日本武道館で

ここに、戦後の長きにわたる平和な歳月に思いを致しつつ、過去を顧み、深い反省の上に立って、再び戦争の惨禍が繰り返されぬことを切に願ひ、戦陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、全国民と共に、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。

高橋泰一朗氏 日本遺族会元常務理事
6月22日、逝去された。83歳。葬儀は京都市のじり葬儀店で行われた。喪主は妻マリ子氏。

謹 哀悼
高橋泰一朗氏 日本遺族会元常務理事
6月22日、逝去された。83歳。葬儀は京都市のじり葬儀店で行われた。喪主は妻マリ子氏。

厚生労働省で人事異動
厚生労働省で人事異動が行われた。

令和四年 靖國曆
靖國神社では「令和四年 靖國曆」を頒布しています。
本曆は、昭和二十三年から発行しているもので、嘉永六年から明治・大正・昭和の「御祭神ゆかりの主な出来事」を月毎に掲載しております。
座右に置かれて、日々ご活用戴きたく存じます。

好評中 頒布
令和四年 靖國曆

●体裁：B6判 ●頁数：四十八頁
●編集発行：靖國神社社務所

主な内容
○靖國神社の由緒 ○人生儀礼の説明
○靖國神社の祭事曆 ○手水・玉串拝礼の作法
○家庭のみたままつり ○全国の護國神社一覧
○年中行事と節氣 ○年齢早見表

頒布価格
一部 三〇〇〇円(送料二〇〇円)
※三〇〇部以上取りまとめの場合は割引となります。
※二部以上の送料はお問い合わせ下さい。

お申し込み方法
「はがき」または「FAX」にて部数・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、お申し込み下さい。
※曆と同封の払込取扱票にてご送金下さい。

お問い合わせ先
靖國神社社務所 祭儀課
〒102-8246 東京都千代田区九段北 三-1-1
電話：03-3261-1832(代表)
FAX：03-3261-1832(直通)

要望事項実現に向けて

より一層陳情運動を展開

令和4年度 政府予算

財務省は8月31日、各省庁が提出した令和4年度政府予算の概算要求を締め切った。本会関係では、遺骨収集事業等の推進に関する経費等が大幅に増額されるなど本会の要望が概ね予算要求に盛り込まれた。コロナ禍における極めて厳しい財政状況の中で、年末の予算編成に向け、より一層の陳情運動を展開しなければならぬ。

財務省は、8月31日に提出された各省庁の令和4年度概算要求額は1兆1兆円を超える見込みと発表された。

新型コロナウイルス関連は現時点で金額を示さない「事項要求」が多く、年末に決まる令和4年度当初予算案も最大を更新する見込みである。

本会関係では、戦没者の遺族に対する特別弔慰金の支給に係る事務経費(支給対象件数、約85万人)として8億2300万円、遺骨収集事業等の

推進として32億1600万円、戦没者慰霊事業等6億2700万円、昭和館事業4億9800万円が要求された。(遺族処遇改善項目掲載)

主なものとして、海外等における遺骨収集事業に係る費用が本年度予算額に対し4億2100万円増額の10億1900万円要求され、特に、「遺骨の鑑定に係る手掛かり情報のない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定」の経費は、本年度予算額4000万円に押し上げられた。

また、戦没者遺児による慰霊友好親善事業に本年度と同額の2億5900万円、戦没者遺留品の返還に伴う調査一式の費用が1500万円、昭和館事業に記録映像等のデジタルアーカイブ化の推進等として3100万円が要求額に計上された。

コロナとの戦いは来年度も続く可能性が高く、社会保障費など各省庁から提出された要求額の抑制を目指す財務省は、年末までに要求を厳しく査定してくると見込まれるため、本会は各支部に対して、概算要求額が令和4年度政府予算に計上されるよう、それぞれ地元において、「地元選出自民党所属国会議員」等に対し理解と協力を得る陳情運動を実施するよう依頼している。

【厚生労働省からのお知らせ】 戦没者遺骨のDNA鑑定の対象地域を拡大し、 10月1日から申請受付を開始します。

- 厚生労働省はDNA鑑定により戦没者遺骨の身元を特定してご遺族のもとへご遺骨を返還する事業を行っています。
- これまで実施してきた沖縄、硫黄島、タラワ環礁に加え、下記地域の戦没者のご遺族からの申請を受け付けます。

- ・硫黄島
 - ・インド
 - ・インドネシア
 - ・沖縄
 - ・樺太
 - ・旧ソ連等
 - ・旧ソ連
 - ・モンゴル
 - ・タイ
 - ・中部太平洋地域
 - ウエーク島、ギルバート諸島、ツバル、トラック諸島、パライオ諸島、マーシャル諸島、マリアナ諸島、メレヨン島
 - ・東部ニューギニア
 - ・ノモンハン
 - ・ビスマーク
 - ・ソロモン諸島
 - ・フィリピン
 - ・ミャンマー (50音順)
- ※他の戦域も戦没者遺骨の検体採取され次第鑑定を実施します。

●申請方法等詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。
掲載先 戦没者遺族等への支援「戦没者遺骨のDNA鑑定」
URL : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137645_00006.html

相談先電話番号 ※お迷いの方もまずはご相談下さい。
03-3595-2219 (厚生労働省社会・援護局鑑定調整室)

新型コロナウイルスの猛威が収まらない中、終戦から76年目の8月15日、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、全国戦没者追悼式(以下追悼式)は挙行されました。

追悼式については、昨年同様早々に相談がありました。緊急事態宣言が解除され、感染者が減少傾向にあった昨年とは逆に、宣言が発出され、感染が急拡大する状況に、厚労省担当者は神経をすり減らし、参列者無しも

時局に思う 日本遺族会会長 参議院議員 水落敏栄



想定し始めていました。ありがたいことに、当初から天皇皇后両陛下の御臨席のご意向も伺っていましたので、無理もありません。

そこで、各都道府県支部の意見を確認すべくアンケートを実施したところ、半数以上から出席の回答がありました。これをもって、戦没者遺族にとつて追悼式がいかにか切なものであるかを改めて説明したところ、参列者は東京都を除く道府県は

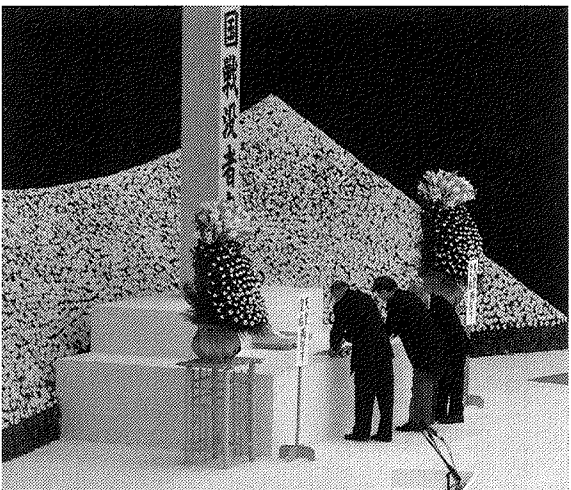
第46回慰霊大祭を斎行 英霊にこたえる会主催

英霊にこたえる会が主催する「第46回全国戦没者慰霊大祭」が8月15日、午前9時から東京・靖国神社拝殿及び本殿で斎行された。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を最縮小しての斎行となった。大祭には水落敏栄本会会長に代わり、盛川英治事務局長をはじめ、自衛隊の統合・陸上・海上・航空幕僚長(各代理)、中央参加団体代表など23人が参列した。

令和4年度 遺族処遇改善項目

恩給法関係	
1 恩給費	1,155億円
厚生労働省関係	
1 援護年金	44億1,400万円
2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給	8億2,300万円
*支給対象件数 ・戦没者等の遺族に対する特別弔慰金 約85万人	
3 遺骨収集事業等の推進	34億1,600万円
(1)遺骨収集事業	26億9,700万円
(2)海外公文書館の資料収集	1,700万円
(3)遺骨の鑑定	6億6,600万円
・分析施設(ラボ)設立・鑑定実施 (1億7,400万円)	
・手掛かり情報のない戦没者遺骨の身元特定のためのDNA鑑定 (1億3,500万円)	
・鑑定技術の研究・実用化検討、大学等機関の鑑定実施等 (3億5,800万円)	
(4)遺骨・遺留品の伝達	3,500万円
4 戦没者慰霊事業等	6億2,700万円
(1)全国戦没者追悼式挙行経費	1億9,700万円
(2)慰霊巡拝等	4億3,000万円
・慰霊巡拝 (9,900万円)	
・政府建立慰霊碑の補修等 (5,300万円)	
・海外・国内民間慰霊碑の管理 (1,900万円)	
海外民間建立慰霊碑 (1,000万円)	
国内民間建立慰霊碑 (900万円)	
・慰霊友好親善事業 (2億5,900万円)	
5 昭和館事業	4億9,800万円

※百万円単位で四捨五入している。



献花する水落本会会長(中央)と各都道府県遺族代表ら=8月15日、日本武道館で

境にあるが故、尚更陛下のお気持ちに胸に迫りました。結果的に参列者は200人と過去最少となりましたが、感染症予防を徹底し、遺族が心安らかに追悼式に望めるよう奔走していただいた厚労省をはじめ、政府関係者には心から感謝申し上げます。

天皇陛下は、「私たち皆がなお一層心を一つにし、力を合わせてこの困難を乗り越えよう」と語り掛けられました。

昨年、追悼式のお言葉では異例の「新型コロナウイルス」に言及され、常に国民に寄り添い、国民の幸せを願われる陛下のお言葉を、国民が前を向くきっかけとなりました。

今年、更に過酷な環

は、一人一人が戦争を忘れないことだと信じています。「握れば拳、開けば掌(手の心)」との故事にあるように、私たち遺族会は悲しみを憎しみに変えず、手と手を繋ぎ、ひたすら平和だけを求め活動してまいりました。こうした思いが、終戦から76年平和な社会を維持してきたことは間違いありません。

戦後76年、戦後生まれが9割となった今、戦争の記憶を後世へ繋げることでできる1割である自覚と、「平和の語り部」である自負を持ち、私たち遺族会は心一つに粘り強く活動を続けてまいります。



慰霊大祭に各自衛隊と中央参加団体代表が参列=8月15日、靖国神社で

本会事業参加者の皆様へ

本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

昭和館 特別企画展

幅広い世代4031人が来場

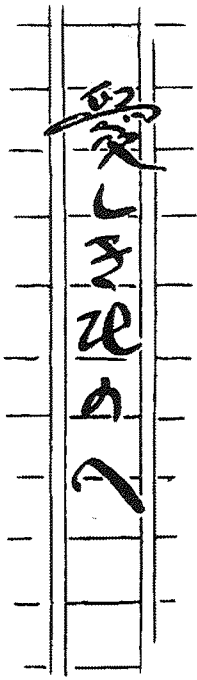
昭和館では、7月17日から9月5日の期間で、特別企画展『ポスターのちから』変化する役割と広がるデザイン』を開催した。展覧会では、昭和館が所蔵するポスターコレクションのなかから、デザインに着目してポスターを厳選し、昭和期におけるポスター制作の変遷を紹介した。開催期間中、4031人が来場し、幅広い世代から好評を博した。

昭和館では特別企画展「ポスターのちから」変化する役割と広がるデザイン』を開催した。展覧会では、昭和館が所蔵するポスターコレクションのなかから、デザインに着目してポスターを厳選し、昭和期におけるポスター制作の変遷を紹介した。開催期間中、4031人が来場し、幅広い世代から好評を博した。

遺書

陸軍兵長 辻 敏雄

昭和二十年十一月十七日
東部ニューギニア・ウエワクにて戦病死
北海道函館市海岸町出身 二十四歳



敏雄は、日本帝国の軍人として恥ぢざる行動は絶対行つて来なかつた。俯仰天地に愧ぢざる所である。大東亜戦争は大日本帝国興亡の戦である。この聖戦に於いて、日本人と生まれ来て此の偉大なる軍人として戦死の名譽を喜ぶものである。遺骨等の帰らざるは、近時戦争の形態にして悲しむ事なし。

皇国の恩、父母兄弟の恩、諸先生、諸朋友の恩に自分の万分の一の恩返しができる事を幸福に思ふ。

母上には生来の弱き体故、十二分に注意願ひたし。自分の今迄の親不孝の罪お許しください。父なき後何程苦勞なごつたかを思へば、唯々感謝の言葉あるのみ。力を落さず、自分よりまだまだ大切な子供を亡くして居られる人の事を思つて、銃後国防婦人として働いてください。

(中略)

では元気で幸福に。母上、兄上、弟、妹へ

昭和十八年五月二十七日(木)

陸軍二等兵 辻 敏雄

〔原文のまま〕
(原文のまま)
愛しきものへ

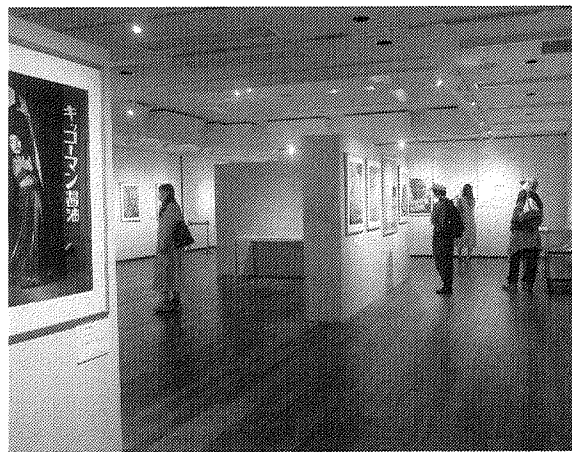
ポスターや戦後に制作された公共広告ポスター、徐々に統制が解除されるなかで復活した商業ポスターといった日本の復興の様子が窺えるものも展示された。

また、昭和39年のオリンピック東京大会・東京パリンピックの公式ポスターは今年がオリンピックの開催年ということ

ともあり、多くの来場者から好評を博した。

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底したなかで開催された企画展であったが、会期中、4031人が来場し、賑わいを見せた。

◇
(問い合わせ先) 昭和館学芸部 ☎03-3222-1257



新型コロナウイルス対策で間隔を空けて見学する来場者 = 昭和館で

九段短歌

作品をお寄せください。

選者 安元 百合子
千葉市 石橋 嘉子

南相馬市 柴田 征子

佐世保市 田中 暁

加古川市 岡田 徹也

武蔵野三分間の黙禱にわれは祈く「大乗院義光日敏居士」なる父に 芹澤 和子

静岡県 勝沼 勝由

激戦地のトラック島に降り立れば日本を内地と呼ぶ老人に 田中 恭子

転進の地は軍服はいらぬのか満州の身の回りの品より届く 青森県

青森県 田中 恭子

戦死せし父の遺影に子と孫は命の凜冽しき受け継ぐと言ふ

耐えがたきを耐え忍ぶこと命せらる詔勅の重み未だ忘れ得ず

天皇の終戦の言葉寝返りて聞き母の怒声に飛び起き正座す

激戦地のトラック島に降り立れば日本を内地と呼ぶ老人に 田中 恭子

転進の地は軍服はいらぬのか満州の身の回りの品より届く 青森県

青森県 田中 恭子

戦没者遺留品返還事業 持ち主遺族を探しています

日本遺族会は、平成30年度から厚生労働省の委託を受け「戦没者等の遺留品の返還に伴う調査一事業を実施しており、これまで日章旗等の多くの遺留品を遺族へ返還している。

今回、都内在住の米国人から特攻隊員の写真等の遺留品を遺族へ返還したいとの申し出があり、持ち主遺族の情報を求めている。

これまでの本会の調査では、写真の兵士は、「第徳島県遺族会が運営している徳島県戦没者記念館」に「あしたへ」で、

戦争の史実を伝える 徳島県で企画展開催

7月30日から8月15日の期間で、第11回特別企画展「全国各地の戦争記念館から戦争の史実を伝える」が開催された。

この企画展は、平和と戦争に関する全国各地の記念館等の特徴を紹介し、より多くの人に戦争の史実や平和の尊さについて知識を深めてもらうことを目的として開催された。今回18の施設から徳島県遺族会へ資料提供があり、それぞれの施設の外観や展示内容の写真、企画展のパンフレット等が展示され、来場者は興味深く見学していた。県内外からの遺族をはじめ、夏休み期間中の開催ということもあり学生の姿も多く見られ、来館者は450人を超えた。



子供の来場者も多い企画展会場 = 徳島県戦没者記念館で



特攻服を着た兵士のスナップ写真



写真館で撮影したと思われる兵士の肖像写真

どがあり、兵士が所有していたと思われる財布に入れられていた。写真の兵士に心当たりのある方は、本会事務局(☎03-3261-1552)まで情報を寄せていただきたい。

地方たより

各都道府県遺族会で、実施された大会、研修会等は次の通り。

▼滋賀県 8月15日
令和3年度8月15日終戦記念式典並びに県下戦没者慰霊祭(100人)